



2022年初日の出 1月1日撮影



**【12月定例会】**

12月定例会は、12月3日から15日まで開かれ、一般会計ほか5特別会計と病院事業会計の補正予算や、条例改正など21議案が原案どおり可決。一般質問は9人の議員が行いました。

**一般会計補正額 3億6606万円**

子育て世帯への臨時特別給付金給付事業

新型コロナウイルスワクチン接種事業

かがやきネット・データ放送システム更改

三和給食共同調理場大規模改修など

2021年度（令和3年

度）一般会計補正予算の主な事業は次のとおりです。

●新型コロナウイルスワクチン接種事業

新型コロナウイルスワクチン接種（3回目）事業。

補正額は、3404万円。

昨年12月から接種券を順次発送。

3回目接種は、2回目接種から8か月経過した18歳以上の方。

（問い合わせ 保健福祉課）  
89-3366

●かがやきネット・データ放送システム更改

11チャンネル、データ放送システムをリニューアル。

スマートフォンやインターネットでも閲覧できる。

補正額は、3355万円。

●三和給食共同調理場大規模改修

三和給食共同調理場の大規模改修を行い施設の長寿命化を行う。

全体事業費は、2億394万円。

2期に分けて整備予定。今回は1期分の9210万円を補正。完成予定は2023年度。

●大規模盛土調査

静岡県熱海市の土砂災害を受けての調査費。1000万円を補正。

**あけましておめでとございます。**

昨年12月、広島県内では新型コロナウイルス新規感染者ゼロの日々が続きましたが、新しい変異株、オミクロン株が発見されるなど、年明けから県内の感染者が報告されるようになりました。1月から3回目のワクチン接種も始まります。引き続き感染対策に取り組みましょう。本年もよろしくお祈りします。

二〇二二年

柏床 由夫



三和給食共同調理場



## 柏床議員の一般質問

令和3年分住民税申告について

問 令和3年分の住民税申告相談の内容は。

答 山林所得など6項目は税務署へ。

柏床 令和3年分の住民税申告相談の実施要項と実施体制は。

町長 コロナ禍においての来場回数の抑制と相談時間短縮などを目的として、受付内容を変更させていただくこととした。

実施要項は、申告内容の複雑な青色申告、山林所得

など6項目と消費税、贈与税の申告について直接府中税務署などでの申告をお願いする。

次に実施体制は、1日1会場とし、申告相談に携わる職員全員が1会場へ集中待機する体制へ変更し、相談時間と待ち時間の短縮を図ることとした。

柏床 この実施要項になった経過は。

住民課長 これまで支所を含め町税務担当職員が例年約2000件の申告受け付け、近年は申告内容が複雑多岐なものが増える状況もある。

確定申告は、軽微な確認作業で所得など確定できる申告に絞らせてもらい、職員8人体制で1日100世帯程度を受け付け予定。油木支所5日間、神石支所4日間、豊松支所3日間、本庁6日間の日程を予定している。短期集中となるが、都合を付けて来場いただきたい。

柏床 住民が税務署に行つて対面形式での申告はできるのか。

住民課長 税務署の申告は昨年から完全予約制となっている。対面形式での申告もできる。例では、山林を5年以上保有し木を売った場合100万円を超える場合が対象だが、前もって相談していただきたい。

柏床 申告日程までの相談は可能か。

住民課長 1月中旬から1月末までの相談を予定している。

### ※変更となる6項目

- (税務署申告)
- ① 青色申告
  - ② 土地建物等の譲渡所得
  - ③ 株式配当及び譲渡所得
  - ④ 先物取引による所得
  - ⑤ 山林所得
  - ⑥ 住宅借入金等特別控除(1年目)

(参考) 申告相談日程

地区	2月	3月
油木	21日・22日	7日・8日・9日
三和	16日・17日 18日・28日	1日・14日
神石	24日・25日	10日・11日
豊松		2日・3日・4日

### 広島県水道広域連携について

柏床 4月以降の設立準備会の経過説明を。

町長 第1回企業団設立準備協議会(4月26日)以降、第1回準備協議会幹事会(10月21日)、第2回準備協議会(11月29日)。「簡易水道事業の交付金に関する制度改正の要望」は、厚生労働省と財務省との協議が2回行われ、現在協議されている。

柏床 第2回準備協議会の内容は。

環境衛生課長 組織運営の骨子の協議が行われた。企業団に参画した場合、企業団の事業開始は令和5年4月予定。職員は市町からの派遣。職員定数は、現在従事する市町の職員数が基本となる。本部は広島市に、事務所は各市町の庁舎内に事務所を置く。業務の運営は、骨子案では、事業開始当初は現在の窓口を維持する。各支所でも対応している

事務は、企業団の委託事務となる計画で、現在のサービスを継続する。営業の窓口のサービス維持は大前提であるが、先々調整を図っていく。施設の維持管理は保全も含め現在の体制を当面維持する計画。

柏床 財政措置の不利解消の見通しは。

環境衛生課長 広島県企業団準備担当が、国の機関に働きかけをいただいている。9月と10月に国での財務協議が事務的に行われ、継続して行われると聞いている。結論は出ていない。

## 農業振興対策について

**柏床Ⅱ農地の集約状況と今後の方針は。**

町長Ⅱ農地集積・集約化の方針については、国の方針を基に、町も認定農業者等担い手への集積を推進している。

現在の本町における農地の状況は、経営耕地面積で、田1488ha・畑828haである。その内、利用権設定面積は669haで、農業法人等利用権設定面積385ha程度となっている。

### 経営耕地 2,316ha



今後の農業施策の方針は、農地を守り集落を守っていくには担い手へ農地集積を進め、経営効率を高めることは欠かせない。

引き続き、国の施策に沿って、担い手育成、担い手支援を進めていく。

**柏床Ⅱ担い手、農業法人等も受託状況は限界ではないか。**

産業課長Ⅱ基本的には担い手への農地の集積を進めて行くのが町の基本的考えである。

現状でも、多くの農家の皆さんに必死に農地を守っていたに過ぎない状況。

このような農家の支援も検討するが、なかなか小規模農家の皆さんまで支援ができないのが現状である。

**柏床Ⅱ** 昨年の答弁の中で農家・農地の保全を考えた場合、半農半X（エックス）という答弁もあったが、産直市場への出荷の確保も含め、兼業農家の育成・確保も必要では。

産業課長Ⅱ半農半X（エッ

クス）を含めた農業従事者の確保については、産直市場への出荷をいただく生産者も小規模農家がおられることや、半農半X（エックス）の方も含めて出来るだけ支援を検討したい。

出荷者協議会の栽培研修を進めながら現在出荷していない方にも、ステップアップをして販売農家になっ

ていただく取り組みにも引き続き対応していきたい。

**柏床Ⅱ** 農業用機械等導入事業の補助対象機械に中古機械を対象に出来ないか。

町長Ⅱ 農業用機械の導入支援については、担い手や集落営農組織を対象として補助額の上限は設定し、導入経費の3割を支援している。毎年2000万円を超える単独町費を予算措置して対応している。

指摘のとおり、農業用機械は、非常に高額で導入経費の負担が大きいことから、以前、中古機械の支援も検討した経過がある。

中古製品は、過去の使用状



収穫後の受託水田を耕起する農業法人

況により機械自体の品質が定まらず、導入後の利用期間や補償期間等もまちまちとなり、公平性が担保できないし、職員で品質の良し悪しの判断も困難。

また、複数の会社から見積もりを徴することができないため、客観的に導入価格が適正かどうかの判断も難しく、税を財源とした支援は、難しいと判断している。更新の基準等については、過去10年間程度の導入実績を確認し、耐用年数、農地の集積状況等を含めて交付決定している。

**柏床Ⅱ** 令和4年度農水省、新規就農者育成総合対策の町の取組み方針は。

町長Ⅱ 新規就農者支援の取組みは、とまと研修生については、新たに就農します。第5期生の着実な就農に向け、東部農業技術指導所による栽培指導をお願いし、県との連携により新たに「農業次世代人材投資事業」での財政的支援を行っていく。

また、引き続き、既存就農者への給付事業を続けるとともに、施設・設備の充実に向けた事業要望に対応していくこととしている。

なお、中止しているとまと栽培研修生の募集は、関係機関と連携し、早期再開に向けた課題整理、協議を進めていく。

ぶどう栽培の就農支援については、次年度就農開始を目指している認定新規就農者の施設整備支援、新たな補助事業の活用による経済的支援を図っていく。

（次ページへつづく）

(一般質問つづき)

また、次年度から「ぶどう栽培研修制度」を開始するため、福山市農協を中心に、関係機関との連携、ぶどう栽培法人の協力により新たな取り組みとして協議・調整を進めている。今月、12月には研修希望者の面接を行うこととしており、次年度、研修支援制度も活用しながら、研修生の生活支援、確実な技術指導を進めていきたいと考えている。

とまと・ぶどうに限らず、農業全体の、新規就農者支援については、確実な就農・定着を主眼に置いた、町の重要施策として、今後も事業展開を図っていく。



高蓋・黒木谷とまと団地

### DX推進計画・基本構想について

**柏床** Ⅱ 神石高原町DX推進計画・基本構想の策定にあたっての基本的考え方は。

**町長** Ⅱ 計画の目標年は5年後としながらも10年後を見据えた時、「本町をどう描くか。そのためにどうしておく必要があるのか」、「デジタル技術にどう向き合っておく必要があるのか」を念頭に町の進むべき道筋を示していきたいと考えている。

**柏床** Ⅱ スーパーシティ構想の位置づけは。

**町長** Ⅱ スーパーシティ構想は、最先端技術を活用し「第4次産業革命後に、国民が住みたいと思うよりよい未来社会を包括的に先行実現するショーケースを目指す。そのため障害となる規制は大胆に改革をしていこう」という考え方です。

今回の提案も、本町がDX推進のための計画を策定する中で、実現の可能性を検

討しながら、地域社会のデジタル化に向け、必要な内容について盛り込んでいきたいと考えている。

※(用語説明)

DXとは、デジタルトランスフォーメーションの略IT(情報技術)が社会のあらゆる領域に浸透することによってもたらされる変革。

### 神石高原町立病院

新しい町立病院が役場の隣に1月末完成。開院は、今年5月予定です。



### 地域の話題

#### 細田営農組合

#### 年末餅つき

細田営農組合では、昨年12月30日に恒例の餅つきを行いました。

8世帯14人で、20臼の餅つき、過去には30臼以上の餅つきをしたこともあります。特に豆餅はそれぞれの家庭の味があって、黒豆、ピーナツや砂糖・塩など調合は様々。高齢化が進む集落にとって家庭の味が何とか守られています。



豆餅・この豆の量！  
組合長、自ら杵つき➡

### 12月議会を終えて

12月定例会は例年より少し早い3日の開会。3日には、コロナ対策の補正予算のほか18議案が審議され当日、可決、予算が成立しました。

子育て世帯臨時特別給付金(先行給付金5万円)は、昨年12月22日に県内でいち早く支給されました。

農業振興、基幹産業の農業は、農家の高齢化が進む中で、担い手への農地集約の方針。町は国の方針に沿う。

農地の保全是、農家の高齢化。農業法人など担い手も高齢化の波。受託面積も限界がある。

農地の荒廃も進み、この20年間で経営耕地が約668ha減少(40%減)した。

10年先の農業を見据えた農業施策が必要では。